

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成22年12月16日(2010.12.16)

【公開番号】特開2009-130671(P2009-130671A)

【公開日】平成21年6月11日(2009.6.11)

【年通号数】公開・登録公報2009-023

【出願番号】特願2007-304236(P2007-304236)

【国際特許分類】

H 04 N 5/225 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/225 F

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月29日(2010.10.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

調整用ボリュームを備えた撮像装置の制御装置において、前記制御装置の電源投入時以降、またはデータ切り換え時以降のいずれかにおいて、前記調整用ボリュームの値が中央値付近または自動調整値付近のいずれかに在ることを確認するボリューム中央値確認手段と、前記ボリューム中央値確認手段で前記調整用ボリュームの値が中央値付近にあることが確認された後、前記ボリュームの値に基づく制御データを前記撮像装置に出力する手段を備えたことを特徴とする撮像装置の制御装置。

【請求項2】

調整用ボリュームを備えた撮像装置の制御装置において、電源投入を検出する電源投入検出手段と、前記電源投入検出手段で電源投入が検出された検出時点以降において、前記調整用ボリュームの値が中央値付近または自動調整値付近のいずれかに在ることが検出される以前は前記調整用ボリュームからのデータをメモリされた映像レベルデータに加算せず、前記調整用ボリュームの値が中央値付近または自動調整値付近のいずれかに在ることが検出された時点以降は前記調整用ボリュームからのデータ又はデータ変化量をメモリされた映像レベルデータに加算して出力する映像レベルデータ出力手段を備えたことを特徴とする撮像装置の制御装置。

【請求項3】

調整用ボリュームを備えた撮像装置の制御装置において、データ切り換えを検出するデータ切り換え検出手段と、前記データ切り換え検出手段でデータ切り換えが検出された検出時点以降において、前記調整用ボリュームの値が中央値付近または自動調整値付近のいずれかに在ることが検出される以前は前記調整用ボリュームからのデータをメモリされた映像レベルデータに加算せず、前記調整用ボリュームの値が中央値付近または自動調整値付近のいずれかに在ることが検出された時点以降は前記調整用ボリュームからのデータ又はデータ変化量をメモリされた映像レベルデータに加算して出力する映像レベルデータ出力手段を備えたことを特徴とする撮像装置の制御装置。